SONY

3-279-360-**02**(1)

ステレオ トランスミッター

取扱説明書

TMR-BT8iP

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

 Printed in Malaysia

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1 年に一度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る

❷ ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

分解禁止

行為を指示する記号

指示

目次

準備

操作

その他

iPod 対応モデル

本機は下記の iPod に対応しています。ご使用の前に、お使いの iPod を最新のソフトウェアにアップデートしてください。特別な場合を除き、この取扱説明書では iPod の総称として「iPod」と記載しています。

iPod touch
（第 1 世代）

iPod nano
（第 5 世代
ビデオカメラ）

iPod nano
（第 4 世代
ビデオ）

iPod nano
（第 3 世代
ビデオ）

iPod nano
（第 2 世代
アルミニウム）

iPod nano
（第 1 世代）

iPod classic

iPod
（第 5 世代
ビデオ）

＊ 2010 年 8 月現在

ご注意

- 対応以外の iPod に本機を接続しないでください。本機で対応していない iPod を使用した際の動作は保証しておりません。
- 対応している iPod でも、本機においてすべての操作ができるわけではありません。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できないことがあります。
- 本機の不具合など何らかの原因で、外部機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

火災

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

火の中に入れない

分解しない

故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない

次のページにつづく

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**やけどや大けが**の原因となります。

道路交通法に従って安全運転する

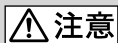
運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では本機を使わないでください。

内部に水や異物を入れない

本機は防水仕様ではありません。
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

はじめから音量を上げすぎない

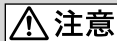
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。

通電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない

変形や故障の原因となることがあります。

次のページにつづく

⚠注意 **下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

本機を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

Bluetooth 機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書（裏表紙）をご覧ください。

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

Bluetooth 無線技術について

Bluetooth® 無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ 10 m 程度までの距離で通信を行うことができます。
必要に応じて 2 つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1 つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。
無線技術によって USB のように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。
Bluetooth 標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

Bluetooth 機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、*Bluetooth* 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記の *Bluetooth* バージョンとプロファイルに対応しています。

対応 *Bluetooth* バージョン：
Bluetooth 標準規格 Ver. 2.0* 準拠
対応 *Bluetooth* プロファイル：

– A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）：高音質な音楽コンテンツを送受信する。
– AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）：再生、一時停止、停止など、AV 機器を操作する。

* Enhanced Data Rate の 2Mbps 伝送に対応

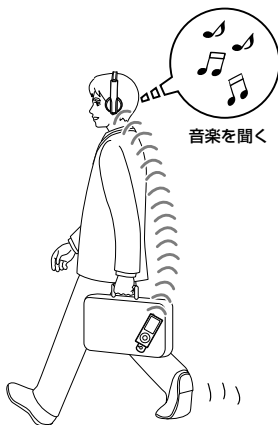
ご注意

- *Bluetooth* 機能を使うには、*Bluetooth* 受信機が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。
  ただし、同じプロファイルに対応していても、*Bluetooth* 受信機の仕様により機能が異なる場合があります。
- *Bluetooth* 無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、*Bluetooth* 受信機側での再生がわずかに遅れます。

こんなことができます

本機は、*Bluetooth* 無線技術を利用したステレオトランスミッターです。

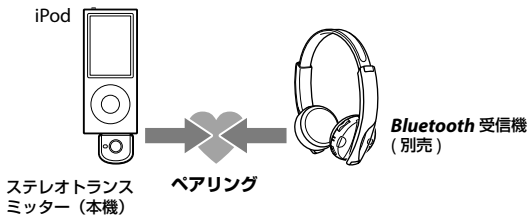
- 本機を接続することにより、iPod の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。*[1]
- お手持ちの *Bluetooth* 対応ヘッドホンがご使用頂けます。（ヘッドホンは別売です）
- iPod の基本的なリモコン操作（再生・一時停止・曲送り・曲戻しなど）ができます。*[2]
- 周囲の電波の影響による音切れが発生しにくい、EDR (Enhanced Data Rate) 2Mbps 伝送に対応

Bluetooth 無線技術については 10 ページをご覧ください。

*[1] 接続する *Bluetooth* 機器が A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) に対応している必要があります。

*[2] 接続する *Bluetooth* 機器が AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) に対応している必要があります。

Bluetooth 機器基本操作の流れ

ペアリングする

音楽受信に対応した *Bluetooth* 機器と本機を、接続相手として登録します。一度ペアリングすれば、次回からペアリングする必要はありません。

→16 ～ 18 ページ

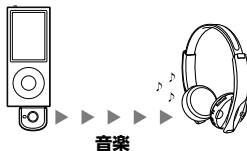
Bluetooth 接続する

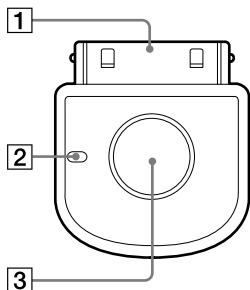
Bluetooth 受信機（別売）の電源を入れ iPod の再生を始めると、自動的に *Bluetooth* 接続します。

A2DP　AVRCP

→20 ページ

音楽を聞く

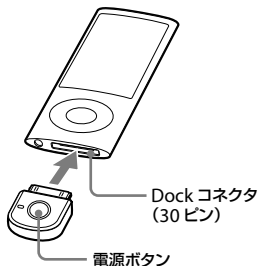
本機は、iPod で再生中の音楽を *Bluetooth* 受信機へ送信し、音楽を楽しむことができます。

→21 ～ 22 ページ

各部のなまえと働き

1 **iPod コネクタ（30 ピン）**
iPod の Dock コネクタに接続します（14 ページ）。

2 **ランプ**
本機の状態を表示します（19 ページ）。

3 **電源ボタン**
以下の操作に使用します。
- 本機の電源をオン / オフする（14 ページ）。
- ペアリングする（16 ページ）。
- 本機を初期化する（27 ページ）。

iPod に接続する

本機の iPod コネクタを、iPod の Dock コネクタにしっかりと接続します。

本機の電源をオンするには

1 **本機を iPod に接続する。**

2 **本機の電源ボタンを、約 1 秒間押し続ける。または、iPod の再生を始める。**

本機の電源がオンすると、ランプが 2 回点滅します。

ご注意

本機の電源がオンしないときは、iPod を操作してください。

本機の電源をオフするには

電源がオンのとき、本機の電源ボタンを約 1 秒間押し続ける。
ランプが 1 回点滅し、本機の電源がオフします。
iPod の電源がオフ (スリープを含む) になると、本機の電源もオフします。
Bluetooth 受信機のリモコン機能 (21 ページ) にて iPod を一時停止したときは、本機は iPod の電源を 10 分間オンのまま維持します。

なお、iPod の操作にて一時停止したときは、お使いの iPod により、一定時間後に iPod の電源がオフになるため、本機の電源もオフし、*Bluetooth* 接続が切断されます。
このとき、*Bluetooth* 受信機によっては、*Bluetooth* 接続が切れたことを知らせる警告音が鳴る場合があります。

ヒント

お使いの iPod により、最大通信時間やスタンバイ時間は異なります。

ご注意

- iPod のヘッドホンポートから音楽を聴くときは、本機を iPod から取りはずしてください。
- 本機の電源がオンの間は、iPod の電源を消費します。*Bluetooth* 機能をお使いにならないときは、本機を iPod から取りはずすことをおすすめします。
- iPod を再生中、本機とともにヘッドホンが接続されていると、余分に iPod の電源を消費します。
- iPod を再生中、本機の電源をオフすると、iPod の電源が切れます。
- 本機や *Bluetooth* 受信機との接続が切断されるので、ご使用中は iPod の電源を切らないでください。
- iPod から電源供給を受けて作動するので、本機を充電する必要はありません。ご使用前に iPod のバッテリー残量を確認してください。

ペアリングする

ペアリングとは

Bluetooth 機器では、あらかじめ、接続しようとする機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。
一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
- 9 台以上の機器をペアリングしようとしたとき。
  本機は 8 台までの機器をペアリングすることができます。8 台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8 台のなかで最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 接続相手の機器から、本機との接続履歴が削除されたとき。
- 本機を初期化したとき（27 ページ）。
  すべてのペアリング情報が消去されます。

ペアリングの手順

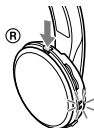
1 **iPod の電源を入れる。**
iPod が一時停止モードになっていることを確認してください。

2 **本機を iPod に接続する（14 ページ）。**

3 ***Bluetooth* 受信機（別売）を、本機の 1 m 以内に置く。**

4 ***Bluetooth* 受信機をペアリングモードにする。**
Bluetooth 受信機の操作については、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ヒント
ソニーのワイヤレスステレオヘッドセット「DR-BT101」では、次のような操作でペアリングモードにすることができます。

- ヘッドセットの電源が切れている状態で、PAIRING ボタンを約 2 秒間押し続ける。ペアリングモードに入ると、ヘッドセットの赤と青のランプが同時に点滅します。

ご注意

- 本機のパスキー * は「0000」、「1234」または「8888」に設定されています。上記以外のパスキーが設定されている *Bluetooth* 受信機は、本機とペアリングすることができません。
- *Bluetooth* 受信機の画面でパスキーの入力を要求された場合は、「0000」を入力してください。

* パスキーは、パスコード、PIN コード、PIN ナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

5 本機の電源ボタンを約 7 秒間押し続け、ペアリングモードにする。

ボタンを押してから約 1 秒後に、ランプが 2 回点滅しますが、そのまま押し続けてください。

ご注意

- 本機を初期化したあと、初めて電源をオンしたときは、自動的にペアリングモードに入ります。
- 電源ボタンを 15 秒以上押し続けると、本機のペアリング情報が初期化されます。初期化が開始される 5 秒前にランプが点灯します。初期化をしないのにランプが点灯しているときは、すぐに電源ボタンから手を離してください。

ランプが素早く点滅を始めたら、電源ボタンから手を離します。
本機がペアリングモードに入ります。
ペアリング処理中、本機の状態は、以下のフローのように変わります。
ランプの点滅で本機と *Bluetooth* 受信機のペアリングの処理状態を確認できます。

ランプが素早く点滅しているとき—「ペアリングモード」
↓
ランプが約 1 秒間隔で点滅しているとき—「ペアリング成功（接続動作）」
↓
ランプが約 5 秒間隔で点滅しているとき—「接続済み」

次のページにつづく

ご注意

- 5 分以内にペアリングを完了しなかった場合、本機のペアリングモードは解除されます。この場合、もう一度手順 4 から操作を行ってください。なお、iPod のバックライトがペアリングモードの 5 分間に点灯する場合があります。
- ペアリングモードを開始するには、本機の電源をオフしてください。また、最初に iPod の電源を入れてください。

ペアリングが確立されないときは

もう一度手順 2 から操作を行ってください。

ペアリングモードを終了するには

本機の電源ボタンを約 1 秒間押し続け、電源をオフします。

ヒント

複数の *Bluetooth* 受信機とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順 3 ～ 5 を繰り返してください。

ご注意

Bluetooth 機能を使うには、*Bluetooth* 受信機が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。

ただし、同じプロファイルに対応していても、*Bluetooth* 受信機の仕様により機能が異なる場合があります。

本機のランプ表示

状態		点滅パターン
電源オン	2 回点滅	●●
電源オフ	1 回点滅	▬
ペアリング	素早い点滅	●●●●●●…
接続動作	点滅 （約 1 秒間隔）	●－●－●－●－●－…
接続済み	音楽送信中 * （約 5 秒間隔で 2 回点滅）	●●－－－－－●●－－－－－…
	音楽送信停止中 （約 5 秒間隔で 1 回点滅）	●－－－－－●－－－－－－…

* 音楽再生中に iPod の ▮▮▶ ボタンを押すと、音楽再生が一時停止します。このとき、本機のランプは 2 回点滅しつづけ、無音を送信します。

Bluetooth 接続する・再生する

本機を iPod に接続すると、お手持ちの *Bluetooth* 受信機（ヘッドセットなど）で音楽を聴くことができます。

機器の操作を始める前に、本機と *Bluetooth* 受信機のペアリングが完了していることを確認してください（16 ページ）。

1 *Bluetooth* 受信機の電源を入れ、接続待ちの状態にする。

2 本機を iPod に接続し、iPod の電源を入れる。続いて、iPod を再生する。

Bluetooth 接続中、本機の状態は、以下のフローのように変わります。ランプの点滅で本機と *Bluetooth* 受信機の接続状態を確認できます。

ランプが 2 回点滅したとき—「（本機の）電源オン」

↓

ランプが約 1 秒間隔で点滅しているとき—「接続動作」

↓

ランプが約 5 秒間隔でゆっくりと 2 回点滅しているとき—「接続済み」（再生が自動的に開始されます）

5 分 * 以内に *Bluetooth* 接続が完了しなかった場合、本機の電源は、自動的にオフします。この場合、本機の電源ボタンを約 1 秒間押し続け、電源をオンしてください。

* iPod のバックライトがこの 5 分間に点灯する場合があります。

ご注意

- ペアリング済みの機器との *Bluetooth* 接続が完了しないときは、もう一度、ペアリングを行ってください。
- 再生が自動的に開始されないときは、iPod を操作して、再生を開始してください。
- iPod に接続した状態で本機の電源ボタンを約 1 秒間押し続け、電源をオンすると、本機は iPod の再生を自動的に開始します。

ヒント

Bluetooth 受信機にて､再生音量を調節してください。（iPod の音量設定は変更されません。）

ご注意

- iPod の音量設定を変更しても、*Bluetooth* 受信機からの音量は変わりません。
- 本機と *Bluetooth* 受信機間の距離が通信可能範囲を超え、*Bluetooth* 接続が切断されたときは、もう一度手順 1 から操作を行ってください。
- *Bluetooth* 接続による再生は、使用する場所や周囲の環境により、雑音の発生や音の切断がおきたり、再生速度が変化したりすることがあります（23 ページ）。

iPod をリモコン操作する

AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）対応の *Bluetooth* 機器と接続する

Bluetooth 受信機のボタンを使って、iPod をリモコン操作できます。
Bluetooth 受信機の操作については、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

リモコン操作を始める前に、「*Bluetooth* 接続する・再生する」（20 ページ）の手順 1 と 2 が完了していることを、お確かめください。

上記が完了している *Bluetooth* 受信機で、iPod のリモコン操作ができます。

ご注意

- iPod の音量設定を変更しても、ヘッドセットなど、*Bluetooth* 受信機からの音量は変わりません。
- iPod をリモコン操作するときは、本機を手で覆わないでください。

- *Bluetooth* 受信機によっては、再生 / 一時停止ボタンを 2 回押す必要があります。
- iPod のボタンを使って操作した場合、*Bluetooth* 受信機によっては、再生 / 一時停止ボタンを 2 回押す必要があります。
- お使いの *Bluetooth* 受信機の仕様により、本機に接続されている iPod で可能な操作は異なることがあります。
- iPod でビデオや写真などを再生していると、リモコン操作が不安定になることがあります。

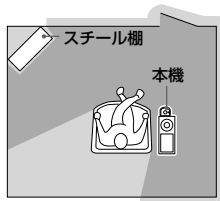
次のページにつづく

ヒント

Bluetooth 受信機のリモコン操作により、iPod を一時停止したときのみ、一時停止中に iPod の電源が自動で切れないように、本機は iPod の電源を 10 分間オンのまま維持します。その間、iPod のバックライトは点灯と消灯を繰り返します。

使用上のご注意

Bluetooth 通信について

- *Bluetooth* 無線技術ではおよそ 10 m 程度までの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。

最適感度

制限感度

- 本機のアンテナは、下記の図の点線で示した部分に内蔵されています。接続する *Bluetooth* 機器と本機のアンテナとの間に障害物が入らないようにすることで、*Bluetooth* 通信の感度は向上します。
  接続する機器のアンテナ部と、本機内蔵アンテナ部分との間に障害物などがある場合、通信距離が短くなります。

内蔵アンテナの位置

- *Bluetooth* 通信は以下の状況において、通信感度に影響を及ぼすことがあります。
  - 本機と *Bluetooth* 機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
  - 無線 LAN が構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
- *Bluetooth* 機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - 本機と *Bluetooth* 機器を接続するときは、無線 LAN から 10 m 以上離れたところで行う。
  - 10 m 以内で使用する場合は、無線 LAN の電源を切る。
  - 本機と *Bluetooth* 機器をできるだけ近付ける。
- *Bluetooth* 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および *Bluetooth* 機器の電源を切ってください。
  - 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
  - 自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、*Bluetooth* 無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、*Bluetooth* 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。
  Bluetooth 通信を行う際はご注意ください。
- *Bluetooth* 通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

次のページにつづく

- 本機はすべての *Bluetooth* 機器との *Bluetooth* 接続を保証するものではありません。
  - 接続する *Bluetooth* 機器は、Bluetooth SIG の定める *Bluetooth* 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - 接続する機器が上記 *Bluetooth* 標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

その他のご注意

- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、直射日光の当たる場所や停車中の車内などには置かないでください。故障の原因となります。
- 本機は、力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまうおそれがあります。保管するときは、変形しないようにしてください。
- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などでポケットに入れての使用
    身体をかがめたときなどに落として水濡れの原因となる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
  - 汗をかく状況での使用
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。
- ほかに疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、再度の点検と、ホームページのサポート情報を確認してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

電源が入らない（または、電源を入れてもすぐ切れる）

➡ 本機の電源ボタンを、約 1 秒以上押し続ける。
➡ iPod のバッテリー残量を確認する。バッテリー残量が少ないときは、iPod を充電する。
➡ iPod をリセットする。
➡ iPod 内にデータがないときは、iPod にデータを保存する。
➡ iPod にて音楽を再生する。

音が出ない

➡ 本機が iPod にしっかり接続されているか確認する。
➡ 本機と *Bluetooth* 受信機の電源が入っているか確認する。
➡ 本機と *Bluetooth* 受信機との距離が離れすぎていないか確認する。本機や *Bluetooth* 受信機の周辺に無線 LAN や 2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器、電子レンジなどがないか確認する。
➡ 本機と *Bluetooth* 受信機を再度ペアリングする。

音が小さい

➡ *Bluetooth* 受信機の音量を、音のひずみがおきない程度に大きくする。*Bluetooth* 受信機の操作については、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

音量が調節できない

➡ *Bluetooth* 受信機にて音量調整を行う。

音質が悪い

➡ *Bluetooth* 受信機の音量を、音のひずみがおきなくなるまで小さくする。*Bluetooth* 受信機の操作については、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
➡ iPod のイコライザを「オフ」にする。
➡ 本機や *Bluetooth* 受信機の周辺に無線 LAN や 2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器、電子レンジなどがないか確認する。

通信距離が短い（音が途切れる）

➡ 無線 LAN や他の 2.4 GHz 無線機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れて使用する。
➡ 本機と *Bluetooth* 受信機の間にある障害物を取り除くか、本機と *Bluetooth* 受信機を障害物の影響のでないところに移動させる。
➡ 本機と *Bluetooth* 受信機をできるだけ近付ける。
➡ 本機の位置や向きを変える。
➡ *Bluetooth* 受信機の位置や向きを変える。

次のページにつづく

ペアリングできない

➡ 本機と *Bluetooth* 機器をなるべく近付けてからペアリングを行う。
➡ 正しいパスキーを入力しているか確認する（17 ページ）。

Bluetooth 接続ができない

➡ 本機と *Bluetooth* 受信機をできるだけ近付ける。
➡ 本機は、接続履歴の新しい 2 台までの *Bluetooth* 受信機に接続を試みます。以前にペアリングが完了しているのに *Bluetooth* 接続されないときは、お使いの *Bluetooth* 受信機から再度接続、またはペアリングする。
➡ ペアリング情報が消去された可能性がある。本機と *Bluetooth* 受信機を再度ペアリングする。

電源が切れる（*Bluetooth* 接続が切断される)

➡ iPod の電源がオフ (スリープなどを含む) になり、本機の電源がオフした。 再度、本機の電源をオンする。
iPod を一時停止した後に継続して音楽再生を楽しみたいときは、*Bluetooth* 受信機のリモコン機能にて iPod を一時停止してください。 本機は iPod の電源を 10 分間オンのまま維持します。

本機を初期化する

工場出荷時の設定に戻し、すべてのペアリング情報を削除します。

1 **本機を iPod に接続する（14 ページ）。**

2 **本機の電源ボタンを、約 15 秒以上押し続ける。**

この約 15 秒の間に、ランプが以下のように変化します。

— （約 1 秒間隔で）約 5 秒間点滅する
— 約 5 秒間素早く点滅する
— 約 5 秒間点灯する
— 4 回点滅する

その後、本機が工場出荷時の設定に戻ります。
すべてのペアリング情報が削除されます。

ご注意

本機の初期化中は、iPod を操作しないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店またはソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではステレオトランスミッターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 6 年間保有しています。

主な仕様

概要

通信方式
Bluetooth 標準規格 Ver. 2.0*[1]

出力
Bluetooth 標準規格 Power Class 2

最大通信距離
見通し距離約 10 m*[2]

使用周波数帯域
2.4 GHz 帯（2.4000 GHz – 2.4835 GHz）

変調方式
FHSS

伝送帯域（A2DP）
20 - 20,000 Hz (44.1 kHz サンプリング時)

対応 *Bluetooth* プロファイル *[3]
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）、
AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）

対応コーデック *[4]
SBC*[5]

対応パスキー
0000、1234、8888

付属品
取扱説明書（本書)（1）
その他印刷物一式

*[1] Enhanced Data Rate の 2Mbps 伝送に対応
*[2] 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
*[3] *Bluetooth* プロファイルとは、*Bluetooth* 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
*[4] 音声圧縮変換方式のこと
*[5] Subband Codec の略

ステレオトランスミッター

入出力端子
iPod コネクタ（30 ピン）

許容動作温度
0℃ ~ 35℃

最大外形寸法（突起部含む）
約 28 × 31 × 8 mm
（幅／高さ／奥行き）

質量
約 5 g

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標

- iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- 「Made for iPod」とは、各々 iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
  アップルは、本製品の機能、安全、および規格への適合について一切の責任を負いません。

ソニーの相談窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

ホームページで調べるには

➡ AV関連商品・アクセサリー カスタマーサポートへ
(http://www.sony.co.jp/av-acc)
Bluetooth アクセサリー商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

電話・FAXでのお問い合わせは

➡ ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号)
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

セット本体に関するご質問時:
- 型名:TMR-BT8iP
- 製造(シリアル)番号:本体裏側のラベルに記載
- ご相談内容:できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

接続に関するご質問時

質問の内容によっては、本機に接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

製品登録のおすすめ

ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

パソコンから
http://www.sony.co.jp/avp-regi/

携帯電話から

2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください。

http://reg.msc.m.sony.jp/avp/

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口	フリーダイヤル	**0120-333-020**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2511**
修理相談窓口	フリーダイヤル	**0120-222-330**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2531**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

➡ 左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通)0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1